

九州電力 豊前1号機営業運転開始

2年間に及ぶ建設工事終了 引き続き日常整備体制に入る

〔豊前=12月9日〕福岡県豊前市大字八屋に建設が進められていた九州電力株式会社豊前発電所1号機（出力50万KW）は、52年12月9日官庁の使用前検査に合格し、営業運転を開始した。

当社は豊前1号機建設に関して、ボイラ据付および電気計装を石川島プラント建設株式会社、タービン・発電機据付および電気計装を東京芝浦電気株式会社、電気集塵装置なら

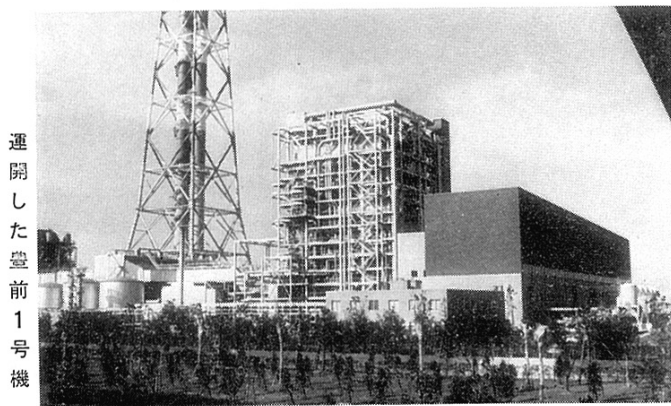
びに屋外変電設備を日立プラント建設株式会社、排煙脱硫装置を川崎重工業株式会社、空気予熱器装置をガデリウス株式会社、電気設備を三菱電機株式会社、補給水処理装置、復水脱塩装置をオルガノ株式会社、碍子洗浄装置を日本碍子株式会社、海水除塵装置を宇部興産株式会社からそれぞれ受注し、51年1月豊前建設所（久富賢一所长）を設置して工事に取組んだ。

工事は、51年6月22日ヘッダ揚げ、51年11月10日ボイラ水圧検査、52年4月28日ボイラ火入れ式、52年6月7日タービン通気式と順調に工程を消化し、6月20日の初併列以降試運転を続けていた。

豊前1号機の運開により、当社はまる2年間に及ぶ同機の建設工事をすべて終了した。これにともない、当社では、52年12月9日豊前建設所を廃止、よく12月10日付で豊前事業所（中野美道所长）を設置して引き続き日常整備体制に入った。

豊前1号機の主要機器概要はつぎのとおり。

- 〔ボイラ〕 F W放射再熱式超臨界圧貫流ボイラ 蒸発量1,750T/H
- 〔タービン〕 串型再熱3車室4分流排気式 定格出力 50万KW
- 〔発電機〕 横軸円筒回転界磁型同期発電機 定格容量 58万9,000KVA



運開した豊前1号機

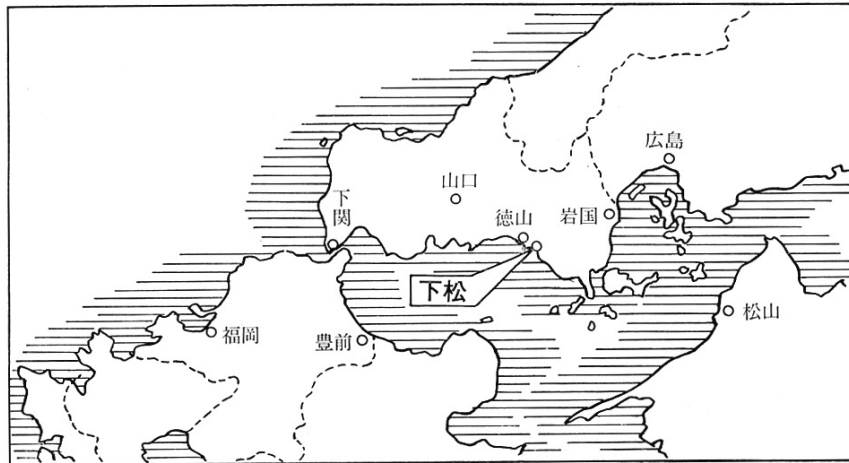
＝中国電力下松第3期＝

ボイラ据付工事を受注

〔下松=1月10日〕当社は、山口社下松発電所第3期(出力70万KW)のボイラ据付工事を受注し、52年12

月10日から工事に取掛った。同工事は石川島プラント建設株式会社から受注したもので、蒸発量毎時2,350トンの再熱式貫流ボイラ本体の据付である。

当社ではこれに対処して52年12月1日付で下松建設所を設置し、12月10日の建家入りから工事を開始した。現在、葉山所長指揮のもと、飯尾所長代理、松尾清美、増田正志、本間昌夫各主任らが工事に当たっており、2月23日にはヘッダ揚げが行われる。運開は54年7月15日の予定。



下松周辺図

- ▷ 工事管理部技術開発課長代理 = 樺島忠 (技術部付、課長代理待遇)
- ▷ 総務部労務課長代理 = 主事補 月田清剛 (総務部労務課副課長)
- ▷ 営業部営業三課長代理 = 主事補 松岡信孝 (営業部営業課副課長)
- ▷ 経理部資材課副課長 = 主事補 古賀朴 (経理部購買課副課長)
- ▷ 営業部営業三課副課長 = 技師補 江口正 (営業部営業課副課長)
- ▷ 工事管理部技術開発課副課長 = 技師補 松嶋和生 (技術部技術課副課長)
- ▷ 工事管理部設計課 (電気) 副課長 = 技師補 松田俊郎 (技術部設計課副課長)
- ▷ 建設工事部第一課副課長 = 技師補 小塩一之 (工事部第一課副課長)
- ▷ 建設工事部第二課副課長 = 技師補 竹本旺弘 (工事部第二課副課長)
- ▷ 建設工事部付<副課長待遇> = 技師補 三厨末次 (工事部付、副課長待遇)
- ▷ 総務部人材開発課副課長 = 主事補 財部健祐 (総務部労務課主任)
- ▷ 企画管理室副課長 = 書記 永利英喜 (経理部管理課主任)
- ▷ 営業部営業一課主任 = 主事補 弘島泰典 (営業部営業課主任)
- ▷ 営業部営業三課主任 = 技師補 大石宗俊 (営業部営業課主任)
- ▷ 営業部営業三課主任 = 技手 栗原準 (営業部営業課主任)
- ▷ 営業部営業三課主任 = 技手 吉田勝喜 (営業部営業課主任)
- ▷ 工事管理部工事管理課主任 = 技師補 才本修生 (技術部技術課主任)
- ▷ 工事管理部工事管理課主任 = 技師補 江口良道 (技術部技術課主任)
- ▷ 工事管理部設計課主任 = 技師補 原口盛二 (技術部設計課主任)
- ▷ 工事管理部設計課主任 = 技手 弥永孝之 (技術部設計課主任)
- ▷ 工事管理部設計課主任 = 技手 石橋徹 (技術部設計課主任)
- ▷ 工事管理部設計課主任 = 技手 大屋博之 (技術部設計課主任)
- ▷ 保修工事部保修工事課主任 = 技師補 石川広光 (工事部保修工事課主任)
- ▷ 建設工事部第二課主任 = 技手 吉野寿記 (工事部第二課主任)
- ▷ 建設工事部電気計装工事課主任 = 技師補 小林康宏 (工事部電気計装工事課主任)
- ▷ 建設工事部電気計装工事課主任 = 技手 吉田泰紀 (工事部電気計装工事課主任)
- ▷ 建設工事部付<主任待遇> = 技師補 中原正男 (工事部付、主任待遇)
- ▷ 企画管理室主任 = 書記 竹田次男 (経理部管理課)
- ▷ 総務部人材開発課主任 = 書記 大塚真司 (総務部労務課)
- ▷ 工事管理部福岡工務所長 = 主事 浜田英彦 (福岡工務所長)
- ▷ 工事管理部福岡工務所副課長 = 技師補 松下正次 (福岡工務所副課長)
- ▷ 建設工事部八丁原作業所長 = 技師補 白杵孝 (工事部八丁原作業所長)

2月1日 関西営業所開設

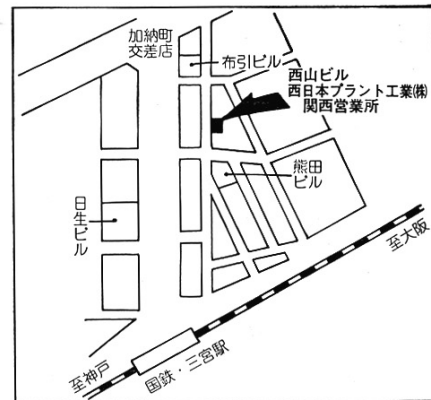
より一層のサービス実施

当社は、関西地域における営業活動の充実を図るため、2月1日関西営業所（小野本存所長）を開設した。

関西営業所は、先の長崎営業所と同じく営業部の出先機関として、関西地域およびその周辺の営業活動に従事し、客先との密接な連係を保ってより一層のサービスを実施していく。

〔名称〕 西日本プラント工業株式会社 関西営業所
〔所在地〕 〒651 神戸市中央区琴緒町5丁目

1-7 西山ビル3階
〔電話番号〕 (078)-242-4656
〔開設日〕 昭和53年2月1日



関西営業所周辺略図

< 労組福岡支部青婦部 >

めぐまれぬ子供たちに

善意の寄付金

西日本プラント工業労働組合福岡支部青年婦人部（横山満敏部長）は、「めぐまれぬ子供たちのために役立ててください」と義援金46,899円を社会福祉法人「やすらぎ荘」に寄託した。

これは、歳末助け合い運動として本店内で行った「愛の募金」と、クリスマスパーティーの益金を合わせたもので、12月28日横山部長と副部長の堤静雄さんの2人が西日本新聞民生事業団を訪れ、やすらぎ荘の美根和多利所長に手渡した。

同青年婦人部では49年から毎年末に愛の募金を行っており、やすらぎ

荘への寄付も今回で3度目。今後も募金活動を続け、少しでも社会のために役立てたいとしている。



寄付金を手渡す横山青婦部長(左)

< 安全ミニニュース >

呼びかけ

納得した時同意が得られる

つぎの呼びかけのうち、あなたはどんな呼びかけが、もっともすなおに受け入れられるでしょうか。

- (1) 「整理整頓をしないさい」
- (2) 「整理整頓をしてください」
- (3) 「整理整頓をしようや」

おそらく、大部分の人が(3)の呼びかけをされたときが、一番やる気が出ると思うと答えるでしょう。

(1)は上司が、部下に対して叱咤命令型の言葉であり、仕方なく、いやいやながら行うでしょう。(2)は何回聞いてもいうことを聞いてくれないのに手をやいた哀願型です。(3)は同僚の親密感があふれているようで、もっとも抵抗なく同調できる呼びかけの言葉です。

職場など集団のなかには、必ずといってよいくらい何人かは右といえ左というような、意地っ張りな人がいるものです。このような人は(1)のような呼びかけをやる、自身ではやらなければと思っ

ていても、いわれた途端に、今ごろそんなことができるか、といった具合でそっぽを向くことがあります。よくよく管理者は言葉つきに注意することが必要です。

職場の安全管理推進についても、いろいろ呼びかけが行われています。呼びかけは、集団外の人からよりも、集団内(グループ)の働きかけのほうが、はるかに効果が大きいといわれています。

呼びかけの効果を高めるためには、内容の説明が、強く印象づけられるような、相手に納得されるようにしなければなりません。

言葉で呼びかけをするとき、なかには、理解し得ないような哲学的な表現をしたり、やたらに外国語をいって、学があるような顔で得意になっている人がいますが、聞く人は気持ちが悪くなるぐらいで、ハナから「ノー」と言いたい気持ちになり、心を閉ざしてしまうでしょう。